

じゃっと新聞

NO.40 号

発行日：2005. 2. 25

発行人：帖佐理子

発行所：じゃっと事務局

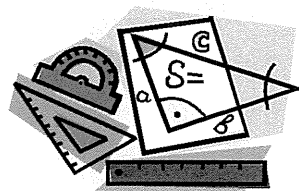
〒895-0054 鹿児島県薩摩川内市 11-20

若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail jaddo@po2.synapse.ne.jp

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>



「さあ、1列に並んでね」
医学生の手伝いで健康診断を
受ける Nonhkhilec 小学校の
子供たち

寒中お見舞い申し上げます。昨年は、災いの年でした。ラオスは津波の直接の被害はありませんでしたが、タイの経済圏内ですのでタイの経済状態が悪化するとラオスへも波及してくる可能性は大きいです。

さて、ジャイカ（JICA*）関連の事業を終了し、以前のスタイルにもどっての活動が続いています。ラオス人の医師が教育局と相談して教師対象のセミナー開催、小学校で健康診断、駆虫薬投与を行っています。じゃっとラオス代表のソムチット医師からの報告がありますので、ご覧ください。

今年度は、じゃっとが活動を始めて12年めです。干支で一巡り。今後の活動への見直しなども検討しながら、変化していきたいと考えています。まずは、皆様にラオスの現状と活動をみていただきたいです。

みなさま、ぜひ7月の視察にご参加ください。

* ジャイカ JICA: Japan International Cooperation Agency

日本のODA（政府開発援助）を実施する組織の一つ。青年海外協力隊、専門家派遣などを行っている。2003年10月に国際協力事業団を引き継ぎ 独立行政法人国際協力機構に変わりました。新しい理事長は国連難民高等弁務官として活躍した緒方貞子さんです。

じゃっとでは、JICA から助成金をいただき小規模開発パートナー事業、KIDSMILE ウドムサイ事業を行いました。

現 地 便 り

じゃっど活動報告（ビエンチャン、サイセタ郡）
報告：



ソムチット アッカボン

いつものように毎年、じゃっどの「小さなお医者さんプロジェクト」は健康診断、保健教育、子供たちのために駆虫薬の投与、そして教師の基礎知識の向上のための保健促進のセミナーをしています。セミナーに参加した教師は生徒たちにこの知識を広めます。

今年、私たちは紙芝居のデモンストレーションを教師と生徒の両方にしたほうが良いのではと、考えました。生徒に、既にじゃっどがウドムサイで行った、「アナマイ・サムサーラ」の衛生の歌を教えました。とてもかわいらしく、子供たちは楽しみながら覚えることができました。

さらに、ボランティアの医学生が読みきかせをして、子供たちをひきつけ、夢中にし、重要な役割をはたしてくれました。

以下、2004 年度のじゃっどの主な活動内容です

*教師の教育

教師の記憶を新たにし、さらに基礎知識を向上させるためにワークショップを開催しました。

対象校 26 校から 47 名が参加し、昨年同様、プレゼンテーションはパワーポイントと LCD プロジェクターを用いて行い、講義はとても、人を惹きつけ、興味深く、知識を与えていました。特に今年は、UCICEF の寄生虫(十二指腸虫と回虫)についてとても面白いスライドショーを利用しました。講義のあとは、質疑応答があり、その後 15 分間の休憩をとりました。

休憩のあと、参加した学校に衛生の歌の CD と紙芝居を 2 セットずつ (Uncle George (栄養と女の子の権利、Dirty water (水について)) 供与し、12 校で各校全学年が 2 種類ずつを受け取ったこととなります。他の対象校には、以前にすでに配布済みです。

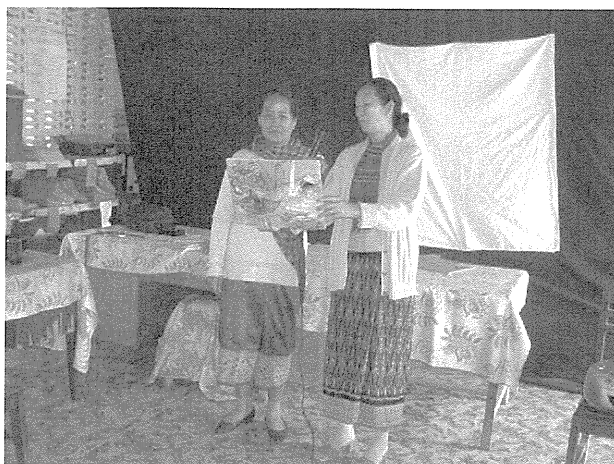


(ひろしま・祈りの石財団の助成金により再販した紙芝居 Uncle George と Dirty Water)

教師を 4 つのグループに分けて、これらの紙芝居を有効活用するにはどうしたらよいか話し合いました。「わからない人はいますか」「強調すべき所はどこですか」「子供たちにどうやって読み聞かせる?」30 分の討論のあと、それぞれのグループがどうすれば上手に読み聞かせ出来るかを示しながら、やってみました。すべてのグループが終了した後、いくつかの意見が出されました。

たとえば、「紙芝居は顔の前にずっとおかない」「客席のほうを見るべきである」とかいろいろ・・・





紙芝居を読み聞かせる教師

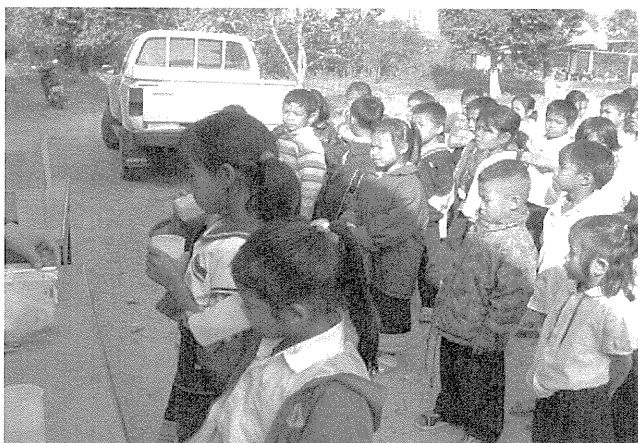
* 健康診断

じゃっどプロジェクトのもと、健康診断、駆虫薬の投与、牛乳、ノートとペンを3校に供与しました。

その3校は：Nonhavai、Mouangnoi、Xiengdaです。

この3校を選択したのは駆虫薬投与の2回目に入っており力説したかったからです。

健康診断に参加した生徒の数は670人でした。



今年の主な活動は10人の医学生による紙芝居のデモをすることと、子供たちに「アナマイ・サムサーアラ」の歌を聴きなれてもらうことでした。事実、子供たちはとても早く覚えました。紙芝居に関しては、子供たちは読み聞かせるほうを積極的に参加し、質問に完璧に答えることができました。これらの活動に参加した子供たちは、添付の写真が示すように、とても積極的でした。



Supervision

以上のことから分かるように、スーパービジョンと見守りは、プロジェクトを運営していく鍵となります。

毎日の仕事で忙しいですが、スーパービジョンのための時間を取りたいと思います。

スーパービジョンの間私たちが直面した問題は次のようなものです。

——いくつかの学校から机といすの要望と、教室の照明が子供たちには不十分であるため、また、暑すぎるので、電気の取り付けの要望がありました。扇風機を設置したいのに、電気がきていないのです。

——供給された多くのトイレが、いくつかの理由により使用されていません。ポンプが何らかの故障により動いていません。修理の必要があるので、（Nonhkhilec, Nongkheng）修理する予算を組むことを勧めました。

——学校建設はまだ終わっていません。まだまだ援助が必要です。

「評価」って何？

古田 宣稔

1. NGO-JICA合同ワークショップ（参加前）

日本の社会、一企業の会社員である私は組織の中で絶えず評価、査定をされているし、また部下を査定し評価し、ランクを付けている。

工事をする場合でもISO—品質審査に則り書類を作成し評価を書類で残している。安全に付いても同様にOHSAS—労働安全衛生システムに則り、パトロールや書類を作成するわけで、それがお客から見たときの評価になっている。

社会的には評価の基準を作ることが大切で、標準化されたもので誰でも同等に評価できるようになるし、評価を受けられる。（これは幻想なのかもしれないが？）

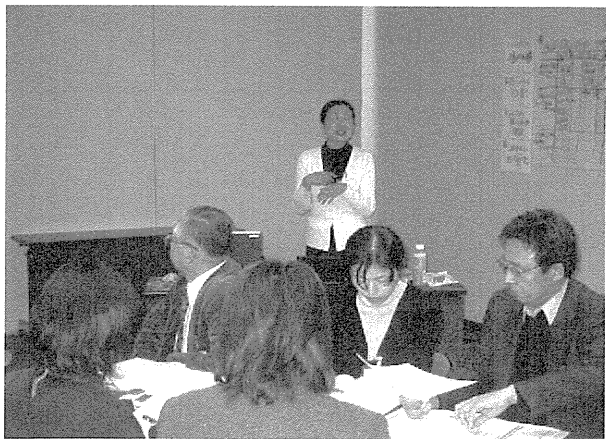
学校では、私の子供達も通知表で評価され一喜一憂するのである。

家庭の中での評価は、ペーパー化されないまでも、嫁さんからの嫉、注意、お小言となって現れる。

日常全てが評価や査定に繋がる現代社会で、NGO活動の「清さ」が果たして評価に結びつくのか、結びつけることを求められるのか疑問に思っていたし、私自身「本当に評価を求めているのか？」答えは「求めているはない。」

果たして、評価で活動が変化して行くものか、目標へのアプローチには無限のルートがあり、NGO活動も評価により画一化されるのではなく無限の可能性を持つことが大切である。参加前の自分なりの「NGO活動の評価」に対する意識付けであった。

2. NGO-JICA合同ワークショップ（1月22日、23日）



参加してまず感じたことは、入念な準備期間があり実行委員会が組織されていた。

参加者は「評価」に対しての拒否反応は%こそ違え皆持っていたと思うが、今回のワークショップは其処を打ち

破ろうとして成功したと思う。

画一的な答えを求められたわけではないが、「評価」に対して何らかの「意識付け」をされた2日間のワークショップで有ったと思うし、「評価すること。」「評価されること。」の必要性をそれがNGO活動にも大切な事として受け入れることが出来た。



グループ討議、事例発表等で学んだことは、「評価」の手法や形を作ることではなく、「自分達に合った評価の方法を見つけること。」この事を強く感じ、自分達の活動の現状認識のために必要と感じた。

「じゃっど」について考えた時、7年間郵便ボランティア貯金の援助を受け、ラオスでNGOとして登録、JICAの予算で行った「鉤虫対策プロジェクト」の事業評価はキッズスマイル、ラオス政府等の外部評価を受け、高い評価を頂いた。

目を移して組織評価を考えた場合、現状は「誰もが、じゃっどは一生懸命やっている。」と考えているが、「広報活動」「若い会員を増やし活動をサポートして行く体制」「新しい事業計画」等を組織的のどのようにしていくかまで出来ていないのが、今後の課題だと思う。

今回のワークショップは宿泊することで、36名、他NGO団体の方々老若男女を問わず、知り合い語り合う機会が出来、他NGOの方々の活動を知ることが出来たことは大きかった。

3. NGO-JICA合同ワークショップ（終了～2週間後現在）

会長と今後の課題について打合せを行った。活動自体が大きく変化することは考えられないが、組織評価をきちんとやろう。

「じゃっどサポート隊」＝理事会＋中心メンバー 現在2ヶ月に一度会を開くようになっているが集まりが悪いのが現状であり、私を含めてまず集まるようにしよう。そして、若

い会員にも入ってもらい、広くコミュニケーションの場を作ろう。

そして、今年は一杯飲みながらの飲コミュニケーションに取組もう。「じゃっど」の今年の最大の取組みである 12 周年 ラオスタディツターの為の勉強会、ツアー後の体験発表会、そして意見交換会を兼ねた懇親会で飲コミュニケーションをして行こう。以上

地球市民フォーラム「アフガンで見たこと、鹿児島でできること」に参加して

宮脇美智子

1月16日かごしま県民交流センターで地球市民教育ネットワーク鹿児島主催のフォーラムに参加しました。講師は～アフガン難民キャンプなどを中心に 60 カ国に及ぶ国々を訪問し、「本当に意味のある国際協力」を常に求め、自ら最前線でそれを実行している山本敏晴氏(活動については、<http://www.act-org.jp/japanese/>)でした。講演会と、県内のNGO団体の活動紹介、また様々な活動を知り、参加者それぞれにできることを考えるというフォーラムでした。活動紹介の際には、私が、じゃっど会員を代表して活動の紹介、協力してほしいこと、また参加の方法を発表しました。

以下、山本氏の講演の内容、感想をまとめました。西アフリカ・シエラレオネ共和国での緊急医療援助活動(2001年より)の現地の窮状をスライドで説明された時には、まず驚きでした。子供たちの3人にひとりには5歳までに死ぬと言う現実。大人の醜い争いに巻き込まれて子供たちが犠牲になっていること(たとえば麻薬を無理やり注射され、最前線で戦う恐怖を感じない最強の兵器として利用される、子供たちは6歳を過ぎたら働く(農作業、大工、売る)など。山本氏は綿密な計画のもと、5つの病院を作り援助活動に全力を注がれます。病院建築には現地の大工さんを雇って完成させたそうです。人間は1日17ℓの水で生活可能らしいのですが、日本人は平均370ℓの水を使っている、世界中で安全な水の確保は困難なようです。国際協力で大事な事は、現地文化を尊重し、彼らと同じ視線に立って援助を考えなければならない。尊敬できる気持ちになってから行動をすべきである。現地文化と西洋文化のバランス、いつも迷いながら活動している。自己満足にならないようにと。ずっと未来へ続いていく

継続可能なシステムを作ること。愛情の反対は憎悪ではなく無関心であると指摘されました。シエラレオネの現状は日本にいる私たちには関係ないわ!と思っっているかもしれないが、地球レベルで考えたら人口問題、食糧問題、資源枯渇どれ一つとっても人類の未来は限りなく暗く、無関心ではいられない。身近にできる取り組みとして資源の再利用、世界に目を向けた子どもを育てる事などをお話されました。

私はじゃっどの会員になって7年目になりますが、ラオスに行ったことはありません。会長や実際行ったこと事のある会員からの話、事務所に届くメール、写真、ラオスの雑貨に触れる事によってのみの情報です。子育てが一段落した今、一度ラオスに行ってみたいなあと思っています。

会員として可能な参加の方法は、スタディツアー参加、活動資金の調達(会費、寄付金など)、定期総会参加、広報誌発行の参加、イベント参加、などがあるのではないかと思います。

県内国際交流団代意見交換会に参加して

小幡順子

さる12月14日(火)鹿児島県民センターで行われた鹿児島県にある国際交流関係NGO団体が集まった意見交換会に参加してきました。この中で、各団体が抱える悩みや課題、また我々NGOを支える行政に何を望むのかなどが話し合われました。

私たちが日頃悩んでいることはどの団体にも言えることらしく、お互い横の連絡を取り合い協力していく事で意見の一致がみられました。つまり、協力してもらうには相手のために協力する事です。ついては、今年「NGOさつま」さんで大きな音楽会を開催されるそうです。スタッフとして参加というかたちだけでなく、観客として参加する事も協力の形ではないかと思います。会場は川内から近いので是非多くの方に参加していただきたいと思います。

広報活動として、今年度県民ホールのロビーにて活動報告のパネル展を開催する事になりました。細かい打ち合わせはこれからですが、今後とも各NGOがお互い協力し合い国際交流活動がスムーズに進む環境になればよいと思いました。



ラオスのサヤブリ県から研修に若松記念病院にきていた看護師さんにインタビューしました。

ビャンナリ ジリさん（看護師）26歳
9人兄弟の長女でしっかりものです。



☆ 日本にくることになったきっかけは？

◎ 勉強がしたかった。ラオスの病院に青年海外協力隊として来ていた看護師、本田文子さんが推薦してくれた。

☆ 看護婦さんになったきっかけは？

◎ 小さい時病院に行った時、いいなと思った。家族の健康とか見てあげられるから。

☆ 日本に来て驚いたことは？

◎ 始めは食事の不安とか、どんな人たちかなとか不安でいっぱいだったけど、皆さん優しい人ばかりでよかった。

☆ 好きな食べ物は？ 苦手な食べ物は？

◎ 好きなのは、すきやき。初めは、味噌汁のにおいがダメだったけど、今は大丈夫。

☆ おすしは？

◎ 魚はすき。でも「わさび」が今でも苦手。醤油は大丈夫。

☆ 一番楽しかったことは？

◎ いろんな場所につれていってもらって、全部が初めてだから、全部楽しかった。

☆ 今の気候はどうですか？

◎ 「とても寒い！」サヤブリでは、1月と2月に朝が冷えこむだけです。

☆ 日本の男性について

◎ 優しい人が多い。男性は何もしないというけど、若い人は違うと思う

☆ ラオスに持って帰りたいものは？

◎ たくさんあるけど、日焼け止めとかチョコレート

☆ 今日はありがとうございました。

◎ どういたしまして。

*****ありがとうございました*****

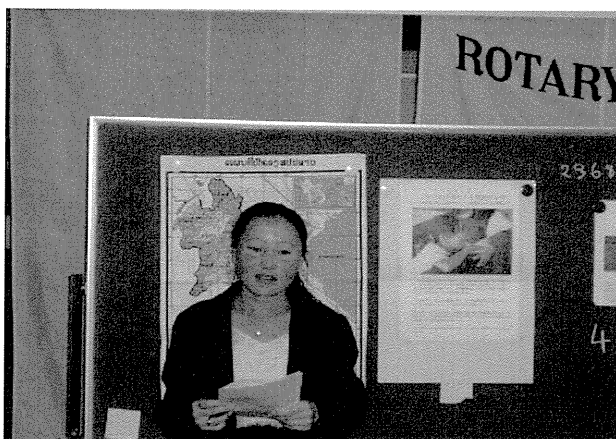
全く日本語の分からない状態から、こんな会話も問題なくできるようになったビャンさん。すごい！

鹿児島県内小学校4校でラオスを紹介(県の活動)。国際交流のお祭りなどでは“じゃっど”を紹介してくれました。

じゃっどは、サヤブリ県でも活動していますから現地でのサポートをお願いしました。また“じゃっど”の現地パートナーとしても協力いただけたらいいなと思っています。では、ポッカンマイ！！(また会いましょう。)



【国内活動】



ロータリークラブ主催のセミナーでラオスの現状について語る
ビャンナリ・ジリさん

- 10月30,31日 純心大学祭バザー参加
11月7日(日) ロータリークラブ講話 (少年自然の家)
12月14日(火) 県内国際交流団体意見交換会

小幡順子理事

- 12月15日(水) 鹿児島大学講義 国際交流のすすめ 会長
12月22日(水) 鹿児島大学講義 国際交流のすすめ 会長
12月28日(火) ラオス人研修生とラオスについて語る会
1月16日(日) 地球市民フォーラム 宮脇事務、坂上会員
1月22,23日 NGO・JICA 合同ワークショップ(福岡)

古田宣稔理事

- 1月30日(日) ソロプチミスト鹿児島 井上氏 他3名
事務所訪問

- 2月20日(日) かつば市ホッピー通りチャリティーライブ
バザー参加

編集後記

早いもので、jaddo12周年の2005年です。7月の記念ツアーに参加したいので、仕事頑張らなくちゃ!

会員の皆様もぜひ参加して下さい。(Kami)

最近読んだお勧めの本です。山本敏晴氏著書で「シオラレオネー5歳まで生きられない子供たち」と「アフガニスタンに住む彼女からあなたへ——望まれる国際協力のかたち」

事務局においてありますので、是非どうぞ! (Miya)

初めてインフルエンザにかかっちゃいました。

(はいぶりっじ)

◎◎ 絵本リストにある絵本を集めています。

ご家庭に眠っている本を、ラオスの子供たちにください!

集めた本は、日本語の部分にラオス語の訳文シールを貼り、ラオスに送ります。



前月号でもお知らせしましたが、7月の12周年記念スタディツアーに参加してくださる方を募集しています。ホームページ上にも申込み用紙があります。まずは事務局までご連絡ください。

7月26日(火)～7月30日(土)です。

たくさんの方のご参加をお待ちしています。

あなたの周りの、あの人にも、是非すすめてください!

じゃっど 12周年記念 スタディツアー 募集中!!

◆◆◆◆じゃつど事務局だより◆◆◆◆

新規会員・ご寄付（2004年9月～2005年1月）

感謝の気持ちとともに、ご支援ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきました（以下敬称略）

■新規会員（2004年9月～2005年1月）

下津房枝（鹿児島市）、大園孝子、小坂ひとみ、宇都弘子（川内市）、平屋四男（串木野市）

■平成16年度会費（2004年9月～2005年1月）

上床久子、上床聖子、山崎ひろみ、大園孝子、三本晃子（川内市）鹿島友義、豊平美和子、下津房枝、時村誠一、時村ヨシ、時村睦子、福永兼蔵、虎頭恭子（鹿児島市）松尾敏明（大島郡）、増田隆信（始良郡）高橋清輝、平屋四男（串木野市）橋本晴美（福岡県）、藤井洋（千葉県）

■寄付金（2004年9月～2005年1月）

向井祐次郎、大園孝子、帖佐理子、江口紀子、かつば市ホッピー通り振興会（川内市）時村誠一、時村ヨシ、時村睦子、福永兼蔵（鹿児島市）加世田小学校（加世田市）薩輝会（鹿児島市）、

■大口寄付金

向井裕次郎（100,000円）

■机、いす募金向井祐次郎、前園 廿、米澤真智子、郡山さち子、肥後れい子、中園照美、オジロテックバンド（川内市）、鹿島友義（鹿児島市）、加世田小学校（加世田市）薩輝会（鹿児島市）大沼順子、大沼紘子（横浜市）

■寄付

会議用机イス（柵アトル）鉛筆約800本、ノート、消しゴム（加世田小学校）、

■バザーに協力いただいた方

10月30日、31日 純心女子大学祭；ビャンナリ・ジリ、梅木多津子、小安晃子、藤井伸介、宇都弘子、小坂ひとみ、大園孝子、増岡淳子、柴こうこ、伊東ひとみ、川内郵便局、宮脇美智子、高橋真弓

2月20日 かつば市チャリティライブ バザー

古田宣稔、帖佐理子、増岡淳子、高橋真弓

■振込用紙印刷 神崎侯至（ACTIVE）

■委託販売 仮屋洋子（Cuir Hair）

■新聞作成 神崎侯至、宮脇美智子、高橋真弓

* 振込会費等、自動引き落とし入金をいただきました方には領収書を同封してあります。ありがとうございました。

♥♥♥ 会費納入のお願い ♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥

ラオスの子供たちが元気に学校に行けるように、お手伝いくださいませ。

* なお今期分未納の方には、お知らせを同封させていただきました。引き続き会員継続の程、よろしくお願い致します。

* 年会費 2000円

①郵便振替：口座番号 02050-2-4746

②現金： 895-0052 鹿児島県薩摩川内市神田町11-20 （市町村合併により、薩摩川内市となりました）

若松記念病院内

じゃつど事務局

現金書留か直接お持ちください。

机イス募金（1口2500円、2口5000円） 常時、受け付けております。

新規会員募集中です



事務局では、絵本集めに先立ってSVAの絵本を届ける運動に賛同し、絵本60冊を購入しました。ラオス語の訳文シールを貼って、1冊の絵本に完成させます。事務局においてありますので、皆さんの手で、絵本を完成させてみませんか？お待ちしております。

●特定非営利活動法人ラオスのこども 翻訳貼付絵本リスト●

NO.	書 名	作 者	出版社
1	あおくんときいろちゃん	レオ・レオニ	至光社
2	あかいろくんとびだす	やべみつゆり	童心社
3	あーんあーん	せなけいこ	福音館書店
4	石のししものがり	大塚勇三	福音館書店
5	いらいうへんないちのはじまり	アーノルド・ローペル	富山房
6	色ねいあそび ぼくはうみわたしはひかり★準備中	やべみつゆり	童心社
7	うさこちゃんどじてんしん	ディック・ブルーナ	福音館書店
8	うさこちゃんどじてんしん	ディック・ブルーナ	福音館書店
9	潮をかえして！★準備中	丘修三 長野ヒデ子	童心社
10	エンゾくんきしやにのる	スズキキョージ	福音館書店
11	おおきなかぶ	トルストイ	福音館書店
12	おかあさんがおかあさんになった日 ★準備中	長野ヒデ子	福音館書店
13	おしやべりなまごやき	寺村輝夫 長瀬太	福音館書店
14	おとうさんあそぼう	渡辺茂雄 大友康夫	福音館書店
15	おんなじおんなじ	多田ヒロシ	こぐま社
16	かあさんのひみつ	立花あさこ 皆川ギリコ	ブックローン出版
17	かいじゅうたちのいるところ	M. センダック	富山房
18	かばくん	岸田裕子 中谷千代子	福音館書店
19	かまさんのおとまり	マックロスギー	福音館書店
20	かわ	加古里子	福音館書店
21	くさむら	田島征三	偕成社
22	くも	新宮 豊	文化出版局
23	ぐりとぐら	中川季枝子 山崎百合子	福音館書店
24	こぐまちゃんありがとう	わかやまけん	こぐま社
25	こぐまちゃんいたいいたい	わかやまけん	こぐま社
26	こぐまちゃんおはよう	わかやまけん	こぐま社
27	こぐまちゃんおやすみ	わかやまけん	こぐま社
28	こぐまちゃんどつどつえん	わかやまけん	こぐま社
29	こぐまちゃんとうせん	わかやまけん	こぐま社
30	こぐまちゃんどぼー	わかやまけん	こぐま社
31	こぐまちゃんのうてんしゆ	わかやまけん	こぐま社
32	こぐまちゃんのどろあそび	わかやまけん	こぐま社
33	こぐまちゃんのみずあそび	わかやまけん	こぐま社
34	しろくまちゃんぽつとけーき	わかやまけん	こぐま社
35	しろくまちゃんぽんかいいい	わかやまけん	こぐま社
36	こねこのねる ★準備中	ディック・ブルーナ	福音館書店
37	さかさま ◎	安野光雅	福音館書店
38	さーかす	ディック・ブルーナ	福音館書店
39	さよならさんかく(こぐまちゃん別冊)	わかやまけん	こぐま社
40	三びきのやぎのらがらどん	M. ブラウン	福音館書店
41	しずくのぼうけん	テルコフスカ	福音館書店
42	しろいうさぎとくろいうさぎ	G. ウイリアムズ	福音館書店
43	しんせつなともだち	ファン・ハイチャン	福音館書店
44	ジョオオのかんむり	岸田裕子 中谷千代子	福音館書店
45	じごくのそうべい ★準備中	田島征三	童心社
46	じのないえほん ◎	ディック・ブルーナ	福音館書店
47	11びきのねこ	馬場のぼる	こぐま社
48	11びきのねことあほうどり	馬場のぼる	こぐま社
49	11びきのねことぶた	馬場のぼる	こぐま社
50	11びきのねことへんねこ	馬場のぼる	こぐま社
51	11びきのねこふぐろのなか	馬場のぼる	こぐま社

2004年3月版

NO.	書 名	作 者	出版社
52	14ひきのせんたく	いわむらかずお	童心社
53	14ひきのひっこし	いわむらかずお	童心社
54	すいかのたね	さとうわきこ	福音館書店
55	スイミー	レオ・レオニ	好學社
56	スーホの白い馬	大塚勇三 赤羽末吉	福音館書店
57	せとうちたいいさんデパートいきたい ★準備中	長野ヒデ子	童心社
58	たいいとおにろく	松岡直 赤羽末吉	福音館書店
59	たこをあげるひとまねこざる ★準備中	E. A. レイ	岩波書店
60	たのしいこき ◎	塚本響三	平凡社
61	たんじょうびおめでとう(こぐまちゃん別冊)	わかやまけん	こぐま社
62-1	ちいさいおうち A5版サイズ 縦書き	V. L. パートン	岩波書店
62-2	ちいさいおうち A5版サイズ 縦書き	V. L. パートン	岩波書店
62-3	ちいさいおうち 30x25cm x タテ23.5cmサイズ	V. L. パートン	岩波書店
63	ちいさなうさこちゃん	ディック・ブルーナ	福音館書店
64	ちいさなねこ ★準備中	石井桃子	福音館書店
65	ティツチ ★準備中	P. ハッチンス	福音館書店
66	てぶくろ	E. M. ラチョフ	福音館書店
67	どろんこハリー	G. ジオン	福音館書店
68	なにのあしあとかな ◎	蔵内正幸	福音館書店
69	なにのこどもかな ◎	蔵内正幸	福音館書店
70	にんじん	せなけいこ	福音館書店
71	ねずみ1、2、3	エレンストルウォルジュ	セーラー出版
72	ねずみぬいだて	エレンストルウォルジュ	セーラー出版
73	ねないこだれだ	せなけいこ	福音館書店
74	のろまなローラー	小正吾 山本忠敬	福音館書店
75	はじめてのおつかい	筒井頼子 林明子	福音館書店
76	花ざん	斎藤隆介 滝平二郎	岩波書店
77	はらぺこあおむし	エリック・カール	偕成社
78	100まんびきのねこ	ガアグ	福音館書店
79	ひらいたひらいた(こぐまちゃん別冊)	わかやまけん	こぐま社
80	ふうせんねこ	せなけいこ	福音館書店
81	ふしぎなえ ◎	安野光雅	福音館書店
82	ふしぎなさーかす ◎	安野光雅	福音館書店
83	ぼくでんでんできるんだ！	渡辺茂雄 大友康夫	福音館書店
84	ぼくのだ！ わたしのよ！	レオ・レオニ	好學社
85	ぼくはあるいたまうずぐまうずぐ	マ・カレワイス・ブラウ	ペンギン社
86	まじんのむすめナダレータ	朝比奈文雄	福音館書店
87	みんなうんち	五味太郎	福音館書店
88	もしもしおでんわ	松谷みよ子 岩崎ひろ	童心社
89	モチモチの木	斎藤隆介 滝平二郎	岩波書店
90	もりのえほん ◎	安野光雅	福音館書店
91	やまなししもぎ	平野直	福音館書店
92	ゆめにうかぶしま	太田 潤	ブックローン出版
93	ちくくえまうてらぶ	灰谷健次郎 長瀬太	文研出版
94	わたしとあそんで	M. H. エッツ	福音館書店
95	わたしのフンピース	にしきかやこ	こぐま社
96	わにさんどきつはいいやさんどきつ	五味太郎	偕成社
97	かばさん ★準備中	やべみつゆり	こぐま社

■ ★印の絵本の翻訳は現在準備中です。現地事務所の方で作業しますので、そのまますでにお送り下さい。

■ ◎印の本は、文字がほとんど使われていない本です。これらの本以外でも、英語の絵本や、文字がわからなくても楽しめる本(写真の多い図鑑、画集など)は、そのまますでにお送りいただけます。

■ リストの絵本はあるけれど翻訳を貼る時間がないという方は、ご相談ください。